

【特別寄稿】 平成 27 年度 医療科学類 FD 講習会 報告

医療科学類 會田 雄一
関本 道治
小池 朗

平成 28 年 1 月 28 日 15 時から医療科学類の教員を対象にした平成 27 年度医療科学類 FD (Faculty Development) 講習会が開催されました。今年度のテーマは「臨床検査技師教育における OSCE (Objective Structured Clinical Examination) の導入」であり、藤田保健衛生大学医療科学部臨床検査学科の雪竹潤先生にご講演していただきました。



雪竹先生のご講演に先立ち、「筑波大学医療科学類における OSCE の試行—2 年目の実績と課題—」という演題で、本学類での取組についてご紹介しました。過去 2 回の試行は本学類に設置されている実習委員会の先生方が中心になって実施されましたが、今回の FD 講習会によって OSCE に携わっていない先生方も現状を把握することができました。

臨床検査技師教育において OSCE を試行している数少ない学校の一つが藤田保健衛生大学です。雪竹先生は、昨年第 10 回日本臨床検査学教育学会学術大会において、シンポジストとして藤田保健衛生大学での取組についてご講演されました。今回の FD 講習会では「臨地実習前の OSCE—藤田保健衛生大学の試みと今後の展望—」という演題

で、医療専門職養成における OSCE の必要性や、複数の医療専門職養成学科をもつ藤田保健衛生大学の強み、そして OSCE の試行を通して得られた課題についてご発表していただきました。



臨床検査技師教育において、今後速やかに OSCE を普及させていくためには、試行している学校で蓄積されたノウハウを全国の学校と共有することが大切になると思われます。医療科学類では引き続き、他校との連携を図りながら、文部科学省の課題解決型高度医療人材養成プログラムの後押しを得て、全国共通の OSCE が臨床検査技師教育に導入されるように道筋を作っていきます。

筑波医療科学 第 12 巻 第 1 号	
編集	筑波医療科学 編集委員会 磯辺智範 二宮治彦
発行所	筑波大学 医学群 医療科学類 〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1
発行日	2016 年 3 月 30 日